

# 次亜塩素酸水（微酸性電解水）の上手な使い方

## ① 手 指

手洗いはたっぷりの量で、濡らすというより洗うという使い方が基本です。特に目に見える汚れは事前の手洗い等で取り除いてください。汚れたままだと、その汚れのために除菌能力を使い尽くして、肝心の菌やウイルスの除菌まで効果が届きません。



## ② 清 掃

ドアノブや人が良く触れる場所の除菌には、汚れていないペーパータオル等に次亜塩素酸水を染み込ませて拭き上げるか、スプレーで濡れる程度に噴霧して拭き上げてください。また、そのタオル等はこまめに取り換えてください。水濡れが不都合な部分には使わないでください。



## ③ 噴 霧

室内噴霧で加湿器を使う場合は必ず超音波式でお願いします。加熱式の加湿器では除菌成分がなくなってしまいます。



人がいる部屋（10㎡以上）では、1時間あたり200㎖の噴霧量が目安です。噴霧量は多い方がいいという点には問題ありませんが、無人で夜間の場合はその半分程度の噴霧量が良いでしょう。

**空間噴霧の安全性について根拠がないとする一部の報道がありました。**

**正式な見解が示されるまでは、念のため、人がいる空間での噴霧はお控えください。**

＜結果＞発熱者は前年比で56%に減少。原因不明の発熱者ゼロ。細菌性肺炎もゼロ。インフルエンザ・ノロウイルスも感染者ゼロ。

## 次亜塩素酸水とアルコール消毒液の比較

分類	代表菌・ウイルス	アルコール	次亜塩素酸水
一般的な細菌	大腸菌群	○	○
芽胞菌	多くの食中毒起因菌	×	○
糸状菌	カビ等	×	○
エンベローブウイルス	インフルエンザ・既存コロナ等	○	○
無エンベローブウイルス	ノロウイルス等	×	○